

教育文化部の報告

第2回 子ども大相撲 — 熱戦 盛況 —

第2回若槻子ども大相撲が6月5日(日)、若槻東条の蚊里田神社相撲場で開催され、昨年度よりも多くの選手が参加し熱戦を繰り広げました。当日は天候に恵まれ、父母をはじめ多くの方が子どもたちの熱戦に声援を送りました。観戦の来賓からは「昨年はレスリングのような試合もあったが、今年はみんな相撲がうまくなり、好取組の連続であった」との講評を頂きました。

出場した子どもたちのうち1・2年生男女混合出場の神津咲季さんは「最後の取り組みは男子との対戦になって転んでしまったが、そこまで勝ててうれしかった。」と話していました。



混合チームの決勝戦、軍配は！

春のスポーツ大会



白熱したシーソーゲーム

平成23年度地区公民館対抗「春のスポーツ大会」がさわやかな五月晴れの下、5月15日(日)若槻小学校において開催されました。

開会式に引き続き校庭でソフトボール大会、体育館でソフトバレーボール大会が行われました。

ソフトボールは9チーム参加し、優勝：若槻団地、準優勝：若槻東条、3位：稲田と徳間がそれぞれ獲得しました。ソフトバレーでは、AリーグとBリーグに分かれ、20チーム参加。Aリーグの5チームはリーグ戦で結果は優勝：東徳間、準優勝：稲田、3位：若槻東条となり、10月に行われる長野市大会に出場します。

健康部会の報告

ノルディックウォーキング講習会

ノルディックウォーキング講習会は3年目を向かえ定着し、5月24日(火)6月21日(火)の2回開催され、50名参加がありました。

講師に山田琢也さんをお願いし、ノルディックウォーキングの基本から実技を学びました。良い汗をかきながら蚊里田八幡宮まで出かけました。



健康肌を維持しましょう！

コミわかグリーン倶楽部の報告

コミわか農園賑やかに



野菜の苗の品定めをする利用者

コミわか農園は、22年度7月にスタートし、逐次拡大を図り、今年3月末で33区画で耕作を開始しました。4月から更に27区画を増やし、6月6日現在60区画で利用されるようになり、ひとまず初期の目標を達成することができました。

今年度から、新たに長野市からサラダパーク蚊里田の指定管理者の指定を受けたので、加えて合計140区画の利用者サービスを11人の会員と22名の賛助会員で進めていくとしています。

手始めに、5月21日サラダパークで野菜苗の販売会を行いました。コミわか農園の利用者を含め30人がきゅうりやナスの苗を格安に手に入れ、嬉しそうに畑に向かいました。売上金は約9千円。秋にはリンゴの販売会など農産物の直販もやりたいね、と参加した会員は張り切っていました。

続いて5月26日には、コミわか農園(徳間)で近くの臈月保育園児30人を招いて、サツマイモの苗の植え付け体験会を開催。植える園児より指導する会員の方がうれしそうな顔で、やさしく手を取って一緒に楽しみました。

6月11日には野菜の病害虫の予防と駆除の講習会を行い、15人の参加者が熱心に勉強しました。